

大事なトイレ

中津市長 奥塚 正典

先日、TOTO 本社がある小倉の「ミュージアム」を見学させていただきました。衛生陶器の歴史、とりわけトイレがより良い暮らしのためにどう進化してきたかを教えてください。水洗化もできるだけ水を節約し、環境に優しい技術を進歩させるなど世界の人を相手に努力を重ねられています。

毎日の生活に欠かせないトイレ。その水洗化は現代生活において必須になってきました。人が移り住む選択にも影響します。残念ながら、中津市に転入された方から水洗化が遅れているとの声を聞きます。暮らし満足を上げるため、中津の水洗化を早く進める努力を続けなければなりません。

その方法の選択が大切です。住宅のトイレの水洗化には、市が整備する公共下水道に接続するか、各家庭が浄化槽を整備するかのいずれかが必要です。公共下水道の整備は整備区域の指定が必要で多額の予算を要し時間もかかります。そこで整備区域に指定されていないところは、各家庭がすぐに取りかかれる合併処理浄化槽による整備に県と市が補助金を出して水洗化を進めています。どちらの方法も市民の皆さまにもお金の負担がかかりますので今後も市民の皆さまによく説明していきます。

トイレ話題で言えば、最近では洋式（着座式）トイレが主流です。齢を重ねるにつけ和式トイレは使うのがつらくなります。子どもたちも和式トイレが苦手になっています。小中学校も洋式に改修しています。観光地のトイレも重要です。どんなに良いところでもトイレの整備や清掃しだいで嫌気がさすと二度と訪れないと言われます。さほどにトイレは大切です。

「たかがトイレ、されどトイレ」、環境衛生面からも、快適な市民生活を送るうえでも「本当に大事なトイレ」ですね。



「TOTOミュージアム」